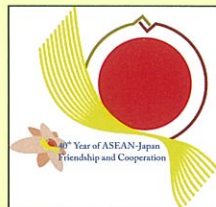


日・ASEAN 友好協力 40 周年記念事業

日本・ASEANユースリーダーズサミット 2013



参加者
募集

参加費無料

9/17(火)
締切

2013.10.29(火)～11.1(金)3泊4日

国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）

問い合わせ：一般財団法人 青少年国際交流推進センター

Tel:03-3249-0767 Fax:03-3639-2436

<http://www.centerye.org/>

CENTERYE

検索

詳細はこちらから→



主催：内閣府、一般財団法人 青少年国際交流推進センター

協力：駐日ブルネイ・ダルサラーム国大使館 / 駐日カンボジア王国大使館 / 駐日インドネシア共和国大使館 / 駐日ラオス人民民主共和国大使館 / 駐日マレーシア大使館 / 駐日ミャンマー連邦共和国大使館 / 駐日フィリピン共和国大使館 / 駐日シンガポール共和国大使館 / 駐日タイ王国大使館 / 駐日ベトナム社会主義共和国大使館 / 東南アジア諸国連合貿易投資観光促進センター（国際機関 日本アセアンセンター）

日本・ASEANユースリーダーズサミット

Japan-ASEAN Youth Leaders Summit



ローカルユースのみなさん

「日本・ASEANユースリーダーズサミット」に参加するローカルユース100名を募集します。

「日本・ASEANユースリーダーズサミット」は、日本と東南アジア諸国連合（ASEAN）各国及び日本とASEANの11か国の連携を強化するために、より多くの青年が日本とASEAN各国を結ぶネットワークに参加することを目的として、駐日ASEAN各国大使館及び日本アセアンセンターと連携して行われる、ディスカッション及び文化交流を中心とした合宿型交流プログラムです。

「東南アジア青年の船」事業※の参加青年とディスカッションや文化交流を通じて、相互理解を深め、日本とASEAN各国の未来を担う青年リーダーの育成を目指します。ASEAN諸国に興味のある方、各国代表とのディスカッションや文化交流を通じてASEAN諸国や日本についてより深く知りたい方など、ふるってご応募ください。

※内閣府青年国際交流事業「東南アジア青年の船」事業については、(<http://www.cao.go.jp/koryu/index.html>)を参照ください。



ディスカッションの様子



展示交流を楽しむローカルユース

ローカルユースとは？

「東南アジア青年の船」事業の日本国内活動の一環として実施される「日本・ASEANユースリーダーズサミット」（10月29日～11月1日）に、一般募集により参加する日本青年約100名を示す名称。ASEAN各国の青年らと10月30日から2泊3日行動を共にし、ディスカッションや文化交流を通じて相互理解を深めます。

サミット概要

日程

日付	活動内容
10/29（火）	ローカルユース入所（午後16時の集合を予定） ローカルユース事前研修（1）
10/30（水）	ローカルユース事前研修（2） 「東南アジア青年の船」事業参加青年入所 オリエンテーション ディスカッション・グループ活動
10/31（木）	午前：「日本・ASEAN文化交流プログラム」準備 午後：「日本・ASEANユースリーダーズサミット」オープニング・セレモニー／「日本・ASEAN文化交流プログラム」（各国紹介パフォーマンス・各国紹介展示） 夕方：交流会
11/1（金）	午前：基調講演 午後：ディスカッション・グループ活動、まとめと発表 夕方：歓送会（修了式含む、21時までに解散予定） ※遠方からの参加者には宿泊あり



ディスカッション成果の発表の様子



シンガポール青年のパフォーマンス

ディスカッション

●共通テーマ

青年の社会活動への参加 ―日本とASEANの青年が築く10年後の未来

ASEAN10か国及び日本の青年とともにグループに分かれ、共通のテーマに沿ってディスカッションを行います。次世代の担い手である青年の可能性と果たすべき役割について討議することで、自分たちが社会を創る当事者であることを自覚します。日本とASEANにおける青年の活動についての理解を深め、ネットワークを広げることで10年後の日・ASEANの社会に向けて自分たちは何ができるのかを考えます。



ディスカッションの様子

文化交流

ASEAN各国と日本の青年たちが、自国の文化紹介を行います。

第1部では、各国に伝わる歌や踊りなど、伝統芸能の披露、第2部では、国ごとに体験型展示ブースが設けられ、ASEAN各国に対する理解を深めることができます。

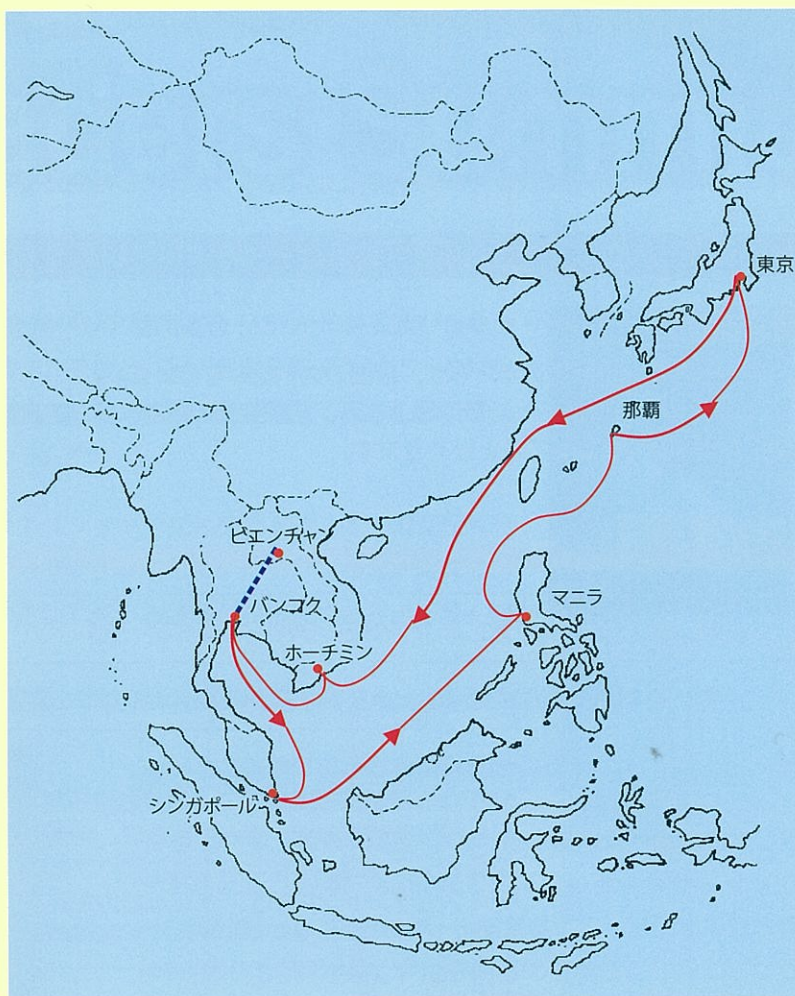
募集要項

期 間	平成25年10月29日（火）～11月1日（金）
会 場	国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）
対象者	○全日程に参加可能であること ○18歳から概ね30歳であること（高校生不可） ○日本国籍を有する者、もしくは永住、特別永住、定住の在留資格を有する者 ○東南アジア諸国の青年との交流に関心があること ○ディスカッションに参加できる英語力を有すること（目安：英検2級レベル以上） ※「東南アジア青年の船」事業既参加青年の方は実行委員として積極的にご協力願います。問い合わせ先までご連絡ください。
募集人数	100名
参加費	無料 ○期間中の食費・宿泊費は主催者負担 ○開催会場までの往復交通費は自己負担 ○ボランティア保険に加入します（保険料は主催者負担）
応募方法	応募フォームに必要事項を記入し、以下提出書類3点を添付してください。 応募のための指定の提出書類は、以下の応募フォームからダウンロードしてください。 https://pro.form-mailer.jp/fms/97afd7a445841（ウェブサイトをご参照ください） 3点すべての書類が揃わない場合は、選考対象外となります。 （応募フォームからの書類提出を基本としますが、郵送を希望される場合も受領します。） 【提出書類】（1）申込書 ※必ずダウンロードした書式を使用してください。 （2）英作文：志望動機（600～800単語） （3）和作文：共通ディスカッションのテーマ「青年の社会活動への参加-日本とASEANの青年が築く10年後の未来」についての自分の意見（1000字程度）
締め切り	平成25年9月17日（火）
提出先 及び 問い合わせ先	一般財団法人 青少年国際交流推進センター 担当: 貝沼、石関 〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-35-14 東京海苔会館6階 TEL: 03-3249-0767 FAX: 03-3639-2436 E-mail: yls@iyeo.or.jp URL: http://www.centerye.org/
選考結果	選考の結果は、9月27日（金）までに、Eメールにて通知します。

「東南アジア青年の船」事業とは？

「東南アジア青年の船」事業は、昭和49年のインドネシア、マレーシア、フィリピン、シンガポール及びタイ各国と日本との首脳会談による共同声明に基づき、ASEAN諸国と我が国による青年国際交流の共同事業として発足したものです。昭和60年度からはブルネイ、平成8年度からはベトナム、平成10年度からはラオス、ミャンマー、平成12年度からはカンボジアが参加し、これらASEAN諸国の協力の下、日本政府が実施しています。

この事業は、ASEAN各国の青年と日本の青年が、船内において生活を共にし、ディスカッションなど各種の活動を行うとともに、各国を訪問して青年との交流やホームステイを行うことにより、東南アジア諸国及び日本の青年相互の友好と理解を促進し、併せて青年の国際的視野を広げ、国際協調の精神の醸成と国際協力における実践力の向上を図り、もって国際化の進展する社会の各分野で指導性を発揮することができる青年を育成するとともに、青少年健全育成活動に参加青年が寄与することを目的として実施されています。



平成25年度「東南アジア青年の船」事業（第40回）日程

月 日	事 項
10月29日～11月6日	日本国内活動 (10月30日～11月1日 日本・ASEANユースリーダーズサミット)
11月14日～17日	ベトナム訪問国活動
11月20日～24日	タイ訪問国活動 【11月21日～22日 代表団によるラオス訪問】
11月29日～12月2日	シンガポール訪問国活動
12月6日～9日	フィリピン訪問国活動
12月16日	帰国報告会、解散式